

平成31年度の活動団体を募集しています！



まちの誰かが喜ぶような、子どもたちのまちづくり活動を募集しています。

「どんな活動が対象になるかわからない」「活動の進め方がわからない」「やりたいことをどう形にしたらいかがわからない」など、少しでも疑問や興味を持たれた方は、お気軽に事務局までお問い合わせ下さい！

●応募対象（次の①～③の条件を全て満たす団体）

- ① 18歳までのメンバーが3人以上いること
- ② ①のメンバーが一つの家族（兄弟姉妹）だけでないこと
- ③ サポートしてくれる大人が2人以上いること

●活動期間

平成31年7月1日～平成32年2月29日

●助成金額

上限20万円（活動に必要な経費）

●申請締切

平成31年5月10日（金）（事務局必着）

※申請書類については、事務局までお問い合わせください。



応募説明会を開催します

●日時

平成31年4月14日（日）午前10時から

●場所

高知市市民活動サポートセンター会議室（鷹匠町2丁目1-43 高知市たかじょう庁舎2階）

●お願い

参加ご希望の方は4月12日（金）までに、事務局までご連絡ください。なお、説明会会場は駐車場がありませんが、県庁前地下駐車場をご利用の場合、1時間無料になります。



平成30年4月以降にご寄附をいただいた皆様

※29年度以前にご寄附をいただいた皆様は、地域コミュニティ推進課のホームページに掲載しております。

企業・団体様

- 三愛石油カスタマーサービス株式会社
代表取締役社長 八田 聡子 様
- 株式会社 四国清掃工業
代表取締役 森国 勇 様
- 株式会社若竹まちづくり研究所
代表取締役 佐藤 八尋 様
- 有限会社舞高電設
代表取締役 山下 邦明 様
- 高知緑化建設株式会社
代表取締役 中尾 正 様
- 有限会社ヨシコー建設
取締役 田畑 喜幸 様
- 特定非営利活動法人こうち高齢者福祉事業団
理事長 武田 孝子 様
- 伊東電気有限会社
代表取締役 伊東 俊雄 様
- 紀和工業株式会社
代表取締役 安宅 正雄 様
- 株式会社永野基礎
代表取締役 永野 雅大 様
- 株式会社高知ビーフ
代表取締役 久末 忠文 様

株式会社タカチ測建

代表取締役 宮崎 玄教 様

株式会社高南メディカル

代表取締役 宮本 高憲 様

IDEAL設計

代表者 岡林 広一 様

株式会社オーエス・エンジニアリング

代表取締役 岡村 卓治 様

株式会社シンゲン

代表取締役 森本 和秀 様

昭栄設備工業株式会社

代表取締役 松井 晶久 様

株式会社西部技研

代表取締役 松森 懋 様

有限会社田部興業

代表取締役 田部 正生 様

有限会社ルート設計事務所

代表取締役 岡林 一雄 様

構営技術コンサルタント株式会社

代表取締役社長 吉田 幸男 様

株式会社総合企画設計

代表取締役 片岡 輝久 様

ほか1社

個人様

●久川 憲四郎 様

●梶原 太一 様

ありがとう
ごさい



皆様の善意をお寄せください

子どもたちへの応援の気持ちを、ぜひ寄附としてお寄せください。

寄附の手続きは簡単ですので、地域コミュニティ推進課までお気軽にご連絡ください。詳細はホームページでもご確認いただけます。なお、寄附金については税制上の優遇措置があります。

こうちこどもファンド 通信

編集・発行：高知市地域コミュニティ推進課 (TEL/088-823-9080)

活動発表会を3月17日（日）に開催します！



『平成30年度活動発表会』

【日時】平成31年3月17日（日）

12時半～13時（制度説明会）

13時半～17時（活動発表会）

※説明会参加希望の方は、3月11日（月）までにご連絡ください。

【会場】南部健康福祉センター

2階大ホール（百石町3-1-30）

※駐車スペースに限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用の上、お越しください。



「こうちこどもファンド」の助成を受けて活動した子どもたちが、今年度の活動内容を発表する活動発表会を開催します。当日は、それぞれの団体の活動を振り返る交流会や、活動団体に対する表彰を行います。発表会はどなたでも自由にご覧いただけますので、ぜひ子どもたちの応援も含めて、ご来場ください。

また、発表会開催前には「こうちこどもファンド」の制度内容や活動事例の紹介などを説明する時間を設けます。ぜひ、会場へ足をお運びいただき、子どもたちの発表や交流とあわせてご参加ください！

STEP1 活動成果発表



活動団体の子どもたちが、3～5分以内で活動成果を発表し、審査員との質疑応答や意見交換を行います。

STEP2 交流会開催



「他団体の活動アイデアを自分達の活動に活かすことができないか」等の話し合い、発表を通じて団体間での交流を行います。

STEP3 表彰団体決定



審査員が活動・発表内容を判断して投票を行い、表彰団体を決定します。また、活動団体・一般来場者も投票を行います。

「第8期こども審査員」を募集しています(2月28日(木)締切)



こどもファンドに応募した子どもたちの活動に対して、助成するかどうかを審査する役割を担うのが「こども審査員」です。あなたもこども審査員になって、皆の活動を応援してみませんか？

応募申請書は、市内の小・中学校、高校へ配布しています。また、地域コミュニティ推進課のホームページでもご覧いただけます。

応募条件

高知市在住または市内の学校に通学している小学4年生から高校3年生の方

活動期間

平成31年4月1日～平成32年3月31日

活動内容

- ①事前研修会・事前審査会への参加（6月）
- ②公開審査会への参加（6月）
- ③活動発表会への参加（3月）

平成30年度 「ちょっとだけ」 助成団体の活動をご紹介します

平成30年度は、公開審査会で応募全7団体の助成が決定しました。各団体は公開審査会以降、「食」「防災」「イベント」「地域交流」「清掃」など、さまざまなテーマで活動を行っています。今回は、事務局が取材した各団体の活動風景を、ほんの少しだけご紹介します！

なお、平成31年3月17日(日)に開催する活動発表会(1ページ参照)では、子どもたち自身が30年度の活動成果を発表します。ぜひ会場へお立ち寄りいただき、子どもたちのまちづくりに対する熱意を感じてください。



おおつっ子

『満開の笑顔でつながれおおつっ子』



これまでアルミ缶を回収・換金し、地域の福祉施設に車イス等を寄贈する活動を行ってきましたが、30年度は新たな取り組みとして、「防災劇」を企画しました。大津中学校生徒会のキャラクター「おおつっ子ちゃん」が、「地震博士」「ひなんちゃん」と一緒に防災について学んでいくというストーリーで、大津文化祭や公民館などで防災劇を披露しました。

太平洋学園コミュニティ協力隊

『学内・地域の皆さんとより安心して暮らせるまちへ～避難所生活を皆で考えよう～』



避難生活を想定した1泊2日の「防災キャンプ」を太平洋学園高校で行いました。避難所での実体験を基にした事例を学び、体育館で防災食の調理等を行いました。夜は段ボールの寝床で眠り、避難所生活を体験。この防災キャンプで学んだことなどをまとめて、学園祭で広報したり、地域に向けて発表をしたりするなど、防災啓発に関する活動を行いました。

AOYAGI 地域盛り上げ隊

『過去の絶海池を取り戻し、地域の笑顔をよみがえらせよう！』



青柳中学校区内にある絶海池をきれいにするため、「第1回絶海池クリーン大作戦！」と銘打って、一斉清掃を行いました。集めたごみの量を競うゲーム形式で清掃を実施し、約150人の生徒・先生・地域の方々でたくさんのゴミを集めました。また、事前に地域の方に取材をして、絶海池の歴史などを紹介する「絶海池新聞」を発行しました。

IKKU絆コミュニティ

『地域交流でつくる一宮の絆』



災害時などに地域の皆で助け合うための強い絆を作ろうと、一宮地域の高齢者施設やお祭りなどで、ボランティア活動を行っています。また国立療養所大島青松園を訪問し、ハンセン病の歴史を知ることで、「学んだことを伝える」大切さを感じました。新聞作成や発表会の開催など、学習・活動内容を発信して、一宮中学校のイメージをもっと良くしていきたいと考えています。

旭地区防災食プロジェクト

『みんなの命と食を子どもが守るんジャー！』



29年度から旭小学校の畑を使って防災食(野菜)を栽培し、農作業・防災について学びながら、地域との交流を深めています。30年度は、アルミ缶を使ったご飯炊き、畑の野菜を使ったピザづくり、さつま芋・大根・かぶ・小松菜・チンゲンサイ等の収穫作業を体験しました。防災食を広めることによって、防災意識を高めるために活動を行っています。

虹を見る子どもたちプロジェクト

『虹を見る子どもたちプロジェクト
～夢を叶えよう～』



「子どもたちに夢の大切さを知ってもらい、夢を持ってもらえる」ような活動を行うため、11月に「こじゃんと広場」で1日限定イベントを開催しました。フリーマーケットやプレイブースなどを用意し、司会進行やステージでの演奏など、子どもが主体となってイベントを運営。最後は手話バージョンの「銀河鉄道999」を会場全員で歌い、フィナーレを迎えました。

naturalチーム

『豊かな里山の四季の食材を発見し、
久重のごちそうを広めよう！』



久重地域に自生する野草の収穫・調理等を行い、有用植物(食用・薬用などさまざまな用途で人の役に立っている植物)のレシピを作成しています。これまで、タンポポ・ノカンゾウ・ムカゴ・アケビなどを採取し、地域の方に教わりながら、調理をしました。また、地域行事に参加して七草粥を試食するなど、里山の魅力をたくさん感じながら、活動をしています。